

プラスチック製品製造業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	14~15	4段式脚立を使用し、大型浄化槽の組立作業中、脚立がぐらついたので3段目より飛び降りた際、右足の踵を亀裂骨折した。	65~29	10
3	11~12	工場内にて、立てた状態の原反を原反台にセットするため、原反を横に倒す作業をしていた。その際に本来の作業手順を行わず、空のパレットに足を掛けていたため、パレットが動いてしまい右足首を負傷した。	25~99	50
3	10~11	空になったダンボールを解体する作業中に、ダンボールのビニールテープで封印してある面を開けるために、ビニールテープを外さず手の甲で強くたたきつけたとき、打ちどころが悪く、右手の甲の痛みを伴う腫れが出てしまった。	52~29	10
3	17~18	2Fクリーンルーム内にて、大型検査機による検査作業を行っていたとき、膝をついて作業することがあり、その際に擦り傷を負ってしまった。ただの擦り傷だと思っていたが、傷口から菌が入り、炎症を起こした。	37~299	100
4	13~14	第3工場成形工程において成形後の製品（クロスウェーブ）のバリ取り、検査後に積み重ね作業の実施中、高い位置の積み重ねがズレ、その修正をする為に裏側に回り高い位置のズレをジャンプして直そうとし、着地時に右膝を痛めた。高い位置への積み重ねの為に4段の階段式作業台は常備してあるが、作業者の方は利用せず作業を行ってしまった。	51~99	50
5	20~21	工場内で、成形3号機にて、検品及び梱包作業をしている時、出来上がった製品を、取り手作業台から取る際に作業台の仕切りに左腕をぶつける。その時に左前腕部を損傷したと思われる。	44~99	50

6	14～ 15	当社工場内で、原料フレコン（ポリフィルムの原料が入っている重量1t）の底に取り付けられている紐を引っ張りながら袋の底をゆるめ、原料フレコンを揺すりながら原料をタンク内に落とし入れる作業中、梯子をはめ込むために少し出ているタンク縁に胸をぶつけてしまった。胸に痛みはあったがそのまま作業を続けた。その後も出社はしていたが、胸に鈍痛があり力が入らないので、軽作業をしていた。痛みが続き力作業ができないので、診察を受けたところ、肋骨が折れていた。	67	10 ～ 29
6	21～ 22	当社シート第3工場5号機にて、機械メンテナンスの点検作業中、配電盤が回転している冷却ファンに右手を近付け過ぎた為、右人差し指をぶつけ負傷した。	30	100 ～ 299
6	9～ 10	工場仕上課パネル組立ラインで作業中、パレットの上に置かれた製品ケースを降ろそうとした時、右足を踏み外し、右足副靭帯を損傷した。	38	30 ～ 49
7	8・9	完成品を入れる空コンテナを機械にセット（供給）していた時。一度、空コンテナを機械に供給し次の空コンテナを取ろうとし、振り向き様に（周囲の確認を怠っていた）リーチフォークと鉢合わせになった。（この時、安全靴を忘れたため、スニーカーで仕事をしていた。）その際、リーチフォークリフトの左前輪に左足小指部分を踏まれ、さらに前輪アームの突起と右足の脛を接触させたため、受傷。	62	100 ～ 299
7	5・6	成形室内で作業中に、弊社社員と派遣社員において業務のことで口論となった。その後、弊社社員が派遣社員へ退社するよう指示し、肩のあたりを押して促した。その際に、バランスを崩し搬送設備（デクスター）付近に腕をぶつけた。	29	50 ～ 99
7	14～ 15	会社内において、金型移動作業中、金型（350×270×350）の上に乗る、他の金型を移動させようとしたときに右足を滑らせ、金型で右膝を強打し負傷した。	75	10 ～ 29
10	17～ 18	プレス機械で抜き作業が終わり、不良を数える為、製品をテーブルの上に置き、抜き向けたとき、踏み台を踏み外し、約40cm下に頭から落ち、右足踵、骨折した。	54	50 ～ 99
11	9～	派遣先において、10tトラックの荷台に積まれたゴミの確認を行う為、トラックの梯子を登っている時、次の段へ上がろうと右足を浮かせたところ、左足が滑り転落	50	100 ～

	10	(高さ約2m) した際、左踵、右足及び左尾てい骨を負傷した。		299
11	17~ 18	BACK溶接L工程で、ロボット異常停止の復旧作業時に、設備内へ入る際は進入扉からセーフティープラグを抜いてから入らなければいけないところ、セーフティープラグを抜かず治具正面からL2st裏へ進入した為、センサー異常の復旧後、ロボットが作動してしまいロボットスライドレールのストッパーとロボットとの間に挟まれて、右大腿部を骨折した。	19~	30 49
12	13~14	商品の測定作業を終え、テストにかけた商品をゴミ箱に捨てようと椅子から立った際、眩暈を起こし、右隣にある別の作業台に右前腕を強打し受傷した。	34	—

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html